

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第32回助成事業 審査講評

### つながりラボ部門

#### < 7-2 一般社団法人シモキタ園藝部 >

- ・多様な人が集まることにより、地域の課題を集めて取り組むまでの仕組みが、とても機能的に動いていると思います。既存のコミュニティ活動では少し難しかった、新たな多層のつながりを構築でき、「みどり」というきっかけがあることで多くの人にも理解されやすい組織となっていると思います。今後もエリアにある様々な主体としなやかに連携しながら、活動がひろがることを期待します。

#### < 7-4 一般社団法人グリーンサポートせたがや >

- ・動くラボとして、一つ一つのステップを丁寧に取り組みながら、地域へ飛び出し、多様で安心できるネットワークを広げていること自体が、とても価値のあることだなと感じております。当事者以外にも自分事としてグリーンケアを知り、考える機会があること、また団体としての社会的意義を改めて言語化し発信することで、より新たなラボの展開につながっていくと思います。

#### < 7-5 一般社団法人おやまちプロジェクト >

- ・タタタハウスの「場」としての機能はかなり発揮されていると感じますが、商店街の一拠点から、面としてまち中に広げて行くという試みは興味深いです。しかし実現には様々な課題があると思います。まちの遊休スペースの活用など、どのように実現されていくのか、期待をもって注視して行きたいと思います。

## < 7 - 6 NPO 法人子育て支援グループ a m i g o >

- ・昨年度の活動から新たな参加者が増え、また主体的に関わるコアメンバーが醸成されていることから、多様なネットワークの広がりを感じました。今後は、プロジェクトや活動間の連携をさらに進めていくことで、面的なつながりができ、住民や活動・資源のマッチングが起こることで、新たな創発が生まれる可能性があると思います。今後の更なる発展を期待しています。